
ちこくクエスト

ヒルトゥス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちこくクエスト

【Nコード】

N9903K

【作者名】

ヒルトウス

【あらすじ】

続き。あの、連載って出来るんですか？
やり方が判らず、新規にしてみました。

テンラノンとの戦い

その怪物は、鳶介のいたところを灰にした。

「うわああ！」

「グルアアア！」

鳶介は、どうしようと考えた。

そこに、一冊のノートが降ってきた！

《怪物図鑑》

「よし」

鳶介は急いで調べた。

そして、絵を見つけた。

「テンラノン？」

その言葉に連動するように、

「グルアア！」

とほえるテンラノン。

「倒し方・・・倒し方」

《テンラノンは、心臓を一突きにすれば死ぬ》

「ど、どうしよう」

ひらめいた鳶介は、コンパスを傘にさす。

傘の先を、地面で削った。

そこに、コンパスの針。鋭い槍の完成だ。

「おれは学校に行く！てめえなんかに邪魔されねえんだ！」

でもコンパス槍は払いのけられる。

案の定、こけた。

「ウワアアア！」

焼かれる！そう思ったとき、槍が手から飛び出した。

「な、なにっ！？」

その槍は、テンラノンを刺した。

「ぐ・・・ぐるああ！」

テンラノンは、燃えて灰になった。

あとで見たら、首をひとつ切ると十倍の首が生えるらしい。首融合は、首十本が全て一本になる。

それを斬ると、千本はえる。

それを首融合し、斬ると、十万本生える。

斬らなくてよかったと、思った。

でも、またほえ声がした。

そこには、双頭の翼竜がいたのだった！

「えええええ！まだかよ！いつ着くんだった！？」

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9903k/>

ちこくクエスト

2010年10月12日20時23分発行